

住まいでスマイル

東洋経済新報社が公表する「すみ良さランキング 2017」において、武雄市は九州沖縄エリアで13位（2016年は14位）と高い評価を受けました。

「すみ良さ」の基準は様々ですが、その中でも「住まい」は大切な要件のひとつです。

今回の特集では、住まいについてのインタビューや空き家に関する話、また、住まいに関する助成制度を掲載しています。

この機会に「住まい」の話をしませんか？



今回、佐賀県宅地建物取引業協会 杵藤支部の徳永洋平さん（株式会社ともひろ不動産）にインタビューし、プロの目から見た「住まい」のアレコレをお聞きしました。

毎月の家賃で家が建つ

最近では、若い方（20代〜30代）が家の購入を検討されるケースが増えています。住宅ローン返済方法により、今の家賃と大差ない金額で一戸建て住宅を持つことが出来る場合もあります。建てるからの維持費、メンテナンス費、税金等もしっかり考慮した上での検討が必要ですね。

家を買うというのは、一生に一度の大きな買い物です。だからこそ、手に入れた「住まい」はきちんと管理し、いつまでも住み続けたいものです。

考えるタイミング

市街地から離れた一戸建てに住まわれていた老夫婦の方が、「子どもがみんな家を出たので」という理由で、利便性の良い市街地のマンションに移られたケースがあります。

若い方では、子どもさんが小学生にあがる前に一戸建てを検討されることが多いです。就学中の転校を気にされていることだと思います。

「住まい」はその人の家族構成やライフスタイルによって様々です。

一戸建てに限らず、マンションや賃貸も選択肢の一つです。

考えはじめたその時がまさにそのタイミングですね。

生活にゆとりを持たせるヒント

デザインや機能性はもちろんですが、常時使用する場所には余裕を持たせたいですね。例えば、洗面所やトイレは広めの間取りにすると、その後の生活にゆとりができます。

また、中古住宅を購入後、ライフスタイルに合わせた空間へリノベーションしたり、現在お住まいの家の浴室を新しくしたり、古くなった壁紙を貼りかえたり。

居心地のいい空間へ変わると、生活にも心にもゆとりが出来ます。

防犯対策について

防犯対策は、警備会社と契約しての見守りなど日々進歩しています。きちんとした防犯対策は当然必要ですが、一番の防犯対策は、ご近所付き合いではないでしょうか。

「知らない人が家を覗き込んでいた」「隣の家は旅行中だが物音がした」



株式会社ともひろ不動産
不動産担当
徳永洋平さん

など、田舎ならではの近所同士の情報交換が、空き巣などの被害を防いだ事例を聞いたことがあります。近所でコミュニケーションを取り、見守れる『まち』になったらいいですね。

変わっていく近所

防犯の面から、近所付き合いの話をしました。ここで問題になるのが空き家です。

隣が空き家になったら、見守りの機能も低下しますし、何より、空き家自体が犯罪を誘発させる原因になりかねません。

これから増えることが予想される空き家をどうするのか考える時期に来ているのかもしれない。